



業種：総合工事業

会社概要：型枠工事、建築工事、
企画設計、施工管理業務

所在地：
新潟県新潟市東区材木町1番40号

ホームページ：
<http://www.takeda-co.net>

会社のPR情報

株式会社竹田工務店は、1972(昭和47)年の創業以来型枠工事を通じて学校・病院などを始め多くの商業施設・公共施設や民間の多くの建物建設に携わり、社会資本の整備に大きく貢献してまいりました。おかげさまで高い技術力、多くの実績と信頼を得ることができました。私たちはこれからも型枠工事のプロフェッショナルとして人々の笑顔で安心して暮らせる街づくりに貢献するために「未来に誇れる仕事」を合言葉に全社一丸となって努力精進しております。

会社からのメッセージ

弊社は、2014年から2名の障害者雇用を開始し、現在2024年2月現在6名の障害者を雇用しております。2014年開始当初は、知識もノウハウも無く苦勞をしておりましたがその時に、ハローワーク・障害者就業生活支援センター担当者様等の外部機関からアドバイスを頂きながら問題点を解決して雇用してまいりました。建設業の中で障害者雇用を進めていく上で難しい部分もありますが、「障害者が地域の一員として共に暮らし、共に働く」の実現に向けて、今後さらに障害者雇用に力を入れていきたいと思っております。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たっての評価ポイント)

数的側面

雇用状況	実雇用率	3.91%
	実雇用率 (除外率適用前)	3.19%
定着状況	勤続年数5年以上の障害者が半数以上	6名中3名 (50%)

体制づくり

支援担当者の配置等	<p>総務課長1名を「障害者職業生活相談員」として配置している。(令和3年11月に同相談員資格認定講習修了)</p> <p>当該相談員は、障害のある社員を職場実習制度等を利用して受け入れる際に障害者就業・生活支援センター等との連絡調整を担当し、入社後は日報の確認作業や定期的な面談の実施など社内における支援にも取り組んでいる。</p>
専門的な外部研修・セミナーの活用	<p>精神・発達障害者についての知識と理解を深めるため、また障害者雇用に先進的に取り組んでいる企業の事例を当社の参考とするため、総務課長(障害者職業生活相談員)が以下の講座・セミナーを受講した。</p> <ul style="list-style-type: none">・令和5年11月「障害者雇用推進フォーラム」 (主催:ハローワーク新潟・新潟市)・同月「上越地域障がい者雇用支援セミナー」 (主催:ハローワーク上越・妙高・糸魚川、障がい者就業・生活支援センターさくら、上越市)・令和4年11月「2022にいがた就労支援セミナー」 (主催:新潟労働局・ハローワーク)・令和4年10月「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」(主催:ハローワーク新潟) 等

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たったの評価ポイント)

仕事づくり

過去2年間のいずれかの年で経常利益が黒字

直近の事業年度（令和4年8月1日～令和5年7月31日）の経常利益が黒字となっている。

適切な方法により個々の障害者に相応しい職務をマッチング

令和5年10月に知的障害者を雇い入れた際、ハローワーク及び障害者就業・生活支援センターらいふあっぷから対象者の障害の特性や能力・適正について説明を受けることで、対象者に適した職務についての理解を深めた。これにより、対象者の特性に適した職務の求人を提出し、面接を経て雇い入れることができた。

環境づくり

障害特性に配慮した作業マニュアルのカスタマイズ、作業手順の簡素化

本人の障害特性を踏まえて職務の切り出しを検討した結果、「コンクリート型枠で使用する木材の片付け作業」に従事させることになった。最初のうちは指導役の社員が手本となる作業を実際に見せながら教えることが出来るが、いつまでも続けることはできなかった。

このため、「良い例」と「悪い例」の作業を指導役の社員が行っている場面を写真に撮り、その写真を使用した作業マニュアルを作成することにした。

なお、正しい作業のやり方および気を付けるべき作業内容を分かりやすく伝えるために、作業場面の写真に大きめの文字で説明を入れる工夫をした。

当該マニュアルを使用するようになってからは、現場の管理者が障害のある社員に正しい作業を説明しやすくなり、誤った作業をしてしまうケースが減少した。

障害者の職場実習生の受入れ

当社での就労を希望している障害者がいる場合は、「特別支援学校」や「障害者就業・生活支援センター」等から短期間の職場実習を積極的に受け入れるようにしており、令和5年11月までに12回（直近3年間では4回）実施している。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たったの評価ポイント)

環境づくり

障害者の業務管理
等のための日報の
作成

障害のある社員の日々の状況を把握するため、「日報」を記入させている。
「日報」は、「当日の午前、午後に行った作業内容」、「今日の問題点・明日の目標」を記入する内容となっており、障害者職業生活相談員（総務課長）が日々確認を行っている。

質的側面

人事に関する処遇
が良

障害のある社員のうち2名を管理職に任命している。
「型枠部課長（型枠管理）」1名
「事業部長（現場管理）」1名
当該社員は他の障害のある社員に対する指導を含む担当部署における管理責任者としての任務にあっている。

賃金に関する処遇
が良

雇用している障害者（計6名、最低賃金減額特例対象者はいない）の平均賃金（時給換算）は、新潟県の最低賃金931円（令和5年10月～）より約44%高い1,343円となっている。